

札幌の冬の魅力、  
子どもたちに届けましょう!

# 雪学習 NEWS

札幌市内  
小学校  
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.37

社会

## 冬と闘う

毎年、たくさんの雪が降る私たちの街札幌。それなのに、雪による災害(雪害)にはならず、当たり前のように日常生活が送れているのは、「雪と闘う」除排雪にかかわる人たちの営みがあるからです。今回は、実働部隊の取りまとめ役である除雪センターについて取り上げます。



## 追跡! 除雪センター



西区南地区除雪センター  
(宮丘公園内に仮設で設置されている)

### 除雪の最前線で闘う「除雪センター」

市内の除雪の最前線である「除雪センター」。私たちが訪れたのは、西区宮丘公園内にある「西区南地区除雪センター」です。24時間体制で除雪に対応し、私たちの市民生活を支えています。札幌市の除雪の仕組みでいうと、まず全体計画を立てる札幌市役所雪対策室があり、そこから各区の土木センターがあります。そして、土木センターから委託された形で民間企業の共同体である除雪センターがあります。西区南地区除雪センターは、8社の共同企業体で構成され、除雪センターの指揮により各建設業者が、幹線道路や生活道路、歩道の除雪を行っています。



除雪センターのみなさんにお話を伺いました!

神田 洋明さん  
[株式会社 佐野重機]

清水 正樹さん  
[株式会社 坂ノ下興業]

館岡 真行さん  
[株式会社 佐野重機]

### 24時間体制で雪と闘う



札幌市内の天気予報の詳細がわかる専用サイト



職員の方たちの  
仮眠・休憩スペース

私たちが訪れた日も前日夜から朝方にかけて10cm以上降雪があり、0時から5時まで除雪の指示をしていたとのこと。また、日中は専用の端末で詳細な天気予報を確認しながら、作業の計画を立てたり、担当地域のパトロールを行ったりして、除排雪が必要かどうかを検討しています。

この除雪センターに勤務している方は20名で、日中勤務と24時間勤務を調整しながらシフトを組み、雪と闘っています。そのため、職員が仮眠や休憩をとれるスペースが用意されていて、いつでも対応できるようにしています。

### 冬期間1000件にも上る問い合わせ

日中の仕事で一番大変なことは、「除排雪に関する問い合わせ」。多い日には1日で100件ほどの問い合わせが入り、その対応に追われます。私たちが訪れた日は、快晴で道路状況もよく、前日の雪も気にならないほどでしたが、昼頃に近隣住民から問い合わせの電話が入り、前日の除雪の仕方についての相談を受けていました。対応した職員は、札幌市の除雪の仕方やガイドラインについて丁寧に説明し、その後、実際に現地へ赴き、自分たちの目で現地の状況を確認し、事後処理していました。

仕事の  
やりがいを感じるのは  
「ありがとう」の言葉を  
いただいた時  
です!



「ありがとう」の  
文字が書かれた  
FAX

現在は、コロナ禍ということで、除雪センターの職員や除排雪にかかわる建設業者の方々が感染したり、クラスターになったりしないように細心の注意をしているとのこと。万が一、感染者が出てしまうと除排雪が止まり、市民生活に大きな影響を及ぼすことになり、改めて当たり前のように除排雪のある暮らしのありがたさを感じた取材になりました。



# なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～  
実物投影機で大きく映そう!!



## 冬に見るよね!?散布中車

右のような写真を見たことはあるでしょうか。車で冬道を走っていると目にする「散布中」の車。何を散布中かと言うと…凍結防止剤です。これは、主に塩化ナトリウムが原料となっており、水が氷になる凝固点をさげる効果があります。普通、水は0度で凍りますが、塩化ナトリウムの成分により最大でマイナス20度まで凝固点を下げることができるのです。雪の上に撒くと、ある程度の雪を溶かすことができます。また、雪が溶けた後も凍結防止という役目を担ってくれているのです。札幌市で使っている凍結防止剤は、橋などの金属製品が錆びないように、防錆剤が混ぜられたものを散布してくれているのだとか。

塩化ナトリウムは4年生理科の実験で「寒剤」の材料として使う食塩と同じ成分のもの。

身近にあるものの性質を生かして、今日も「散布中!」の車は、市民の安全を守ってくれています。



## Q&A

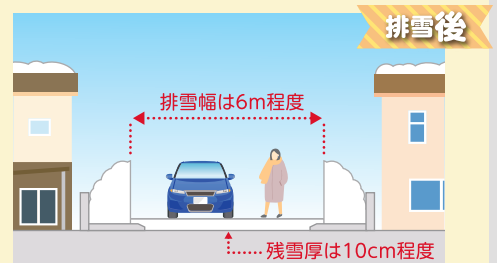
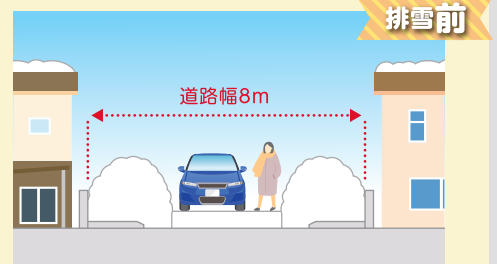
### Q.生活道路の排雪支援制度を教えてください!

A. 札幌市では、約5,400kmの道路を除雪しており、このうち、バス路線や交通量が多い幹線道路と、一部の通学路の約1,600kmを排雪しています。限られた予算や人材、除雪機械で除排雪を行っているため、全ての生活道路の排雪を行うことはできませんが、排雪を望む声はとても多くあるため、札幌市では、以下の2つの制度を設けています。

- 「市民助成トラック制度」:地域の住民が排雪を行う場合、運搬に必要なトラックを無償で貸し出す制度であり、雪の積込作業や交通誘導、地域内の調整等は地域住民が行います。
- 「パートナーシップ排雪制度」:市内一律で定めた1km当たりの地域支払額を負担していただくことで、雪の積込作業や交通誘導などは、当該地域の除雪業務を受持つ企業体が行います。

2つの制度の重複利用はできません。「制度を利用するかどうか」、「どちらの制度を利用するか」は、地域の実情に合わせて選択していただいています。

〈道路幅8mの場合〉



授業をサポートする資料は、ここ!



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。  
【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習 🔍 検索

雪学習HPIはこちら➔



【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141